

令和3年度

# 学校関係者評価委員会報告書

学校法人修学院

修学院札幌調理師専門学校

## 令和3年度 学校関係者評価委員会

1. 招集月日 令和4年3月11日（金）
2. 開催日時 令和4年3月18日（金）  
午前10時～11時半
3. 開催場所 本校3階教室
4. 出席した委員（学校外部委員）の氏名（欠席1名）  
三上 大介 堀 博徳 中村 和洋 堀地 誠  
渡邊 勝博 金井 正治 井内 邦明  
（学校側出席者） 伊藤 薫（学校長） 森 千津子（副校長）
5. 会議次第(司会 森 千津子)  
開会及び進行手順  
学校長挨拶  
審議（学校関係者評価）
  1. 学校理念、教育目標、人材育成
  2. 令和3年度事業計画と実施状況
  3. 令和3年度授業計画と実施状況
  4. 学生の学習状況（成績、学習態度、素行など）閉会

※「新型コロナウイルス感染症」について本文中では「コロナ」と表記する

審議にあたって次の項目について検討し評価をいただくこととした。

## 1. 建学の精神、教育目標

- ①建学の精神や教育の目標などを学生に伝える機会を積極的に設けたか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ②始業時その他「時間厳守」に対する教育はできたか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ③出席指導は十分なされたか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ④提出物など約束の日時を守る指導はできたか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑤毎回の授業の最初と最後の挨拶は徹底されたか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑥職員室での学生の入室、退出時の所作は適切であったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑦学校外部の人と出会った時の挨拶、所作は適切であったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑧学校行事など学校外部に出かけた際の所作はどうであったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑨講義授業に対する取り込む姿勢はどうであったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑩職業教育(調理師)は十分なされたか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑪実習授業に対する取り組む姿勢はどうであったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑫調理実習等を通して、調理師という職業への理解は深まったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑬職場体験等を通して、調理師という職業への理解は深まったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

## 2. 平成3年度 事業計画について(授業計画を除く)

- ①(コロナの影響を除いて)計画通り行事は実施されたか。  
(はい いいえ)
- ②(コロナの影響を除いて)内容が変更された行事はあったか。  
(はい いいえ)
- ③コロナの影響で実施されなかった行事はあるか。

(はい いいえ)

④ コロナの影響で内容が更された行事はあったか。

(はい いいえ)

⑤ 学内のコロナ対策（特に消毒）について、次の項目について実施されたか。

■ トイレ水道ノブ

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ トイレ手洗い後

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ トイレ入口その他ノブ

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ 便座

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ 普通教室、職員室、講堂、実習室入口ノブ

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ てすり

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ 学校玄関先ノブ

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ 実習室水道まわり（特に蛇口）

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ 実習台

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ 実習室床

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ 普通教室空気清浄機

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

■ 床（すべて）

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

⑥ 広報計画は予定通りに実施できたか。

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

⑦ 高校訪問は予定通り実施できたか。

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

⑧ 広報活動と学生募集は歯車がかみ合っているか。

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

⑨ 新年度の募集状況はどうか。

(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

### 3. 平3年度 授業計画

- ① (コロナの影響以外で) 授業は計画通り行えたか。  
(はい いいえ)
- ② (コロナの影響以外で) 授業内容は (シラバスに従って) 計画通り円滑に行えたか。  
(はい いいえ)
- ③ コロナの影響で授業自体の変更はあったか。  
(はい いいえ)
- ④ コロナの影響で授業内容に変更があったか。  
(はい いいえ)
- ⑤ 学生の出席状況はどうであったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑥ 学生の学習に取り組む姿勢はどうであったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)
- ⑦ 学生の学業成績はどうであったか。  
(非常に良い 良い 普通 やや不足 悪い)

### 令和3年度 学校関係者評価委員会審議

#### 1. 建学の精神、教育目標、人材育成

「近代職業調理師として社会生活の連帯感の中で、その使命を自覚し、責任を果たし得る良識のある調理技術者の養成」という建学の精神を踏まえ、それらが実現できるような学習体系の構築を創立以来52年続けてきた。具体的には以下の5つの人材養成目標 (教育目標) を1、2年の学習体系の中で実現している。

- (1) 日常の基本的生活習慣の修得
- (2) 目的意識の養成
- (3) 基本技術 (知識) の養成
- (4) 理論と技術のバランスのとれた調理師の養成
- (5) 即戦力となる人材の養成

特に今年もコロナの影響で授業がどのように進むのか見通せないで、不測の事態に備えて日ごろから出席率を上げていくよう指導した。また、父母との連絡を密にして、感染症対策で先手が打てるように心がけた。(結果的に感染症は今年も発症することなく過ぎた) (1)については社会人になるために1番必要事項であるため、日常生活の中であるいは通常の授業の中で、そして「もてなしの心 (他人を思いやる心)」の養成を目的とする「茶道入門」の授業の中で繰り返し教育している。(2)に対しては、ほとんどの学生が調理師を目指して入学すること、授業特に実習授業で各講師が業界のことについて話を十分しているのも、他の分野に就職するということはほとんどな

い。

以上の内容で説明し、具体的に年間の行事や授業の中でどのように具体化して実践しているのかを簡単に説明した。

学校の取り組み評価としては次のようになった。①については、非常に良いが6人、良いが1人（合計7人）、②については、非常に良いが6人、良いが1人（合計7人）、③については、非常に良いが6人、良いが1人（合計7名）、④については非常に良いが6人、良いが1人（合計7人）、⑤について、は非常に良いが6名、良いが1人（合計7人）、⑥については、非常に良いが7人（合計7人）、⑦については、非常に良いが6人、良いが1人（合計7人）、⑧については非常に良いが6人、良いが1人（合計7人）、⑨については、非常に良いが7名（合計7人）、⑩については、非常に良いが6人、良いが1人（合計7人）、⑪については、非常に良いが7人（合計7人）、⑫については、非常に良いが6名、良いが1名（合計7人）、⑬については非常に良いが6人、良いが1人（合計7人）であった。

（学校関係者委員会意見）・数々の賞味会、学校訪問の際などで経験していることだが、目上に対する言葉遣い、所作など明らかに教育の成果が見られる（非常に礼儀正しい）。

（学校関係者評価）・調理技術の修得の前に、一人の社会人としての素養を研ぐという人材育成目標に関して、特に日常の基本的な生活習慣の修得に関して教育の成果が充分見られる。

## 2. 令和3年度事業計画（授業計画除く）と実施状況

「平成3年度事業計画」に沿って実施状況について説明。幸いなことにコロナの影響で中止になった行事は「講師打合せ会」のみで後の行事については日時の変更あるいは内容の変更で対応することができた。内容の変更については「入学式、卒業式」で、参加者は本人と父母、教職員、学校役員のみとなった。「日本料理賞味会」では懐石の後の茶会を取りやめた。

本校のコロナに関する対応について次のように評価があった。

まず、トイレ水道ノブについては、非常に良いが6人、良いが1人（合計7人。以下省略）、トイレ手洗い後（タオルを廃止し、ペーパーにおきかえた）については、非常に良いが6人、良いが1人、トイレ入口その他ノブについては、非常に良いが6人、良いが1人、便座については、非常に良いが6人、良いが1人、普通教室、職員室、講堂、実習室入口ノブについては、非常に良いが6名、良いが1人、てすりについては、非常に良いが6名、良いが1人、玄関先ノブについては、非常に良いが6名、良いが1名、実習室水道回り（特に蛇口）については、非常に良いが7名、実習台については、非常に良いが7名、実習室床については、非常に良いが7名、普通教室加湿

器については令和3年度より完備した。床については、非常に良いが7名であった。

学内清掃（普通教室、実習室、トイレ他）については毎日学生（当番制）が行った後、教職員が行って万全を期している。

（学校関係者委員会意見）・今年の留学生の受け入れ体制はどのようになっているか。

（留学生がまた次の留学生を紹介してくれ、令和3年度の留学生が1人となった。平成4年度は留学生ではないが中国女性2人が入学予定である。留学生受け入れの体制は徐々に整いつつあるが、やはり1人の人物としてきちんと対応していくことが大切であると思う。本校のような家庭的な雰囲気を持つ学校、というのも1つの体制ではないか）。

（学校関係者評価）・令和3年度の事業については一部変更はあったものの適切に実施されていた。このようなコロナの感染状況の中で、この1年間ひとりの感染者を出さなかったのは評価に値する。

### 3. 令和3年度授業計画

「令和3年度授業計画」に従って実施状況を説明。前述したようにコロナ感染症の影響で不測の事態に備えて出席率を可能な限り上げる指導が功を奏して1年制のクラスは全員が皆勤、2年制のクラスも2人が精勤でありその他の学生もほぼ精勤に近い状況であった。この高い出席率は学習の意欲面、後述するように学業成績の面に良い影響を与えている。また、数年前より「与えられる食材」の発想から「食材を育てる」、「新しい食材、新しい味覚を発見する」、「新しい料理を考え出す」を目標に、「食品加工産業セミナー」や「北の食マイスター学」、「食育指導者養成セミナー」などの授業を新設し、加えて農業体験や農業・漁業・畜産関係の人の講話などを実施している。

年間の授業に対する評価を見てみると、⑤の項目の、コロナの影響で授業数が減少したが、学校としてその影響に対して対処してきたかという質問に対し、非常に良い6人、良いが1人（合計7名）であった。学校としては、残された時間を、あまり必要とされない部分については省き、できるだけ必要とされる部分を集中的に学習することで遅れを取り戻したことと、先に述べたように本年度は抜群の出席率であり、これが遅れを取り戻す大きな要因となったと思われる。

（学校関係者委員会意見）・学校の教育に対して父母の協力が大きい。日ごろから学生たちは、家庭で授業や実習の話しをしているのであろう。

（学校関係者評価）・授業の行事（特別セミナーなど）も中止にならず、一部日時、内容の変更にとどまったことは評価に値する。学生の出席率が高いのは、すなわち学校が楽しいということ。

#### 4. 学生の状況

令和3年度の筆記及び実技試験等の実施状況、結果について（特に再試験等）説明。  
また、学生1人1人の学習態度、素行面について説明。特に今年度は試験において再試験者もおらず、全員本試験で合格している（51年の歴史で初めて）。

（学校関係者委員会意見）・出席率の高さが成績に影響したのだろう。コロナ感染の状況で出席指導を徹底した結果であろう。また、これも「1人1人がける調理実習」、「少人数制」の成果が出ていると思う。

（学校関係者評価）・1人1人を丁寧に指導して学習意欲を保ち、試験等も適切に実施されていた。